

令和元年

第3回仙北市議会定例会
教育行政報告

仙北市教育委員会

令和元年第3回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

【教育総務課】

◇新年度スタートについて

市内の小・中学校12校は、4月4日に始業し、5日から9日にかけて入学式が予定通り挙行されました。小学校7校の児童数が1,024人（前年度1,104人、前年度比80人減）、中学校5校の生徒数が592人（前年度582人、前年度比10人増）、計1,616人（前年度1,686人、前年度比70人減）で新年度がスタートしました。

◇FIS（国際スキー連盟）公認アルペンスキー世界大会での入賞について

4月11日から14日まで、カナダのウィスラーで開催された、16歳以下のアルペンスキー世界大会「ウィスラーカップ2019」に日本代表として出場した角館中学校2年の鎌田宇朗（かまだ ねお）さんが、U-14（14歳以下）男子回転で準優勝、大回転で4位入賞という快挙を成し遂げました。

◇全国学力・学習状況調査の実施について

4月18日、全国学力・学習状況調査が全国一斉に実施されました。教科に関する調査は、小学校では国語及び算数が、中学校では国語、数学及び英語について行われ、初めての実施となった英語では「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」、「話すこと」に関する問題が出題されました。

また、その他に、生活習慣や学習環境等に関する質問紙による調査も行われました。この調査は全国の国・公・私立の小学校6年生、中学校3年生の全児童生徒が対象となり、本市でも小学校7校、中学校5校が参加しました。

◇台湾台北市立北投国民中学来訪について

4月23日から3日間の日程で、台湾台北市立北投国民中学一行21人（生徒10人 引率教師8人 保護者3人）が教育旅行で仙北市を訪れ、4月24日に、生保内中学校との姉妹校提携を結びました。仙北市内の中学校が外国の中学校と姉妹校提携をするのは、角館中学校に続いて2校目となります。

締結式では、北投国民中学の皆さんによるリコーダー演奏が行われ、生保内中学校歌が披露され会場を魅了しました。今後も異文化に触れ、新たな視点を持ち、国際感覚を養うことが、これからの人材育成につながっていくものと期待しています。

◇仙北市育英奨学資金の被貸与者の決定について

令和元年度「仙北市育英奨学資金」の募集に対して、高校2人、専門学校3人、国公立大学3人、私立大学9人の合計17人(昨年度35人)の申請がありました。

4月24日、仙北市育英奨学資金運営審議会を開催し、学校長の推薦内容や学業成績、所得状況を参考に選考した結果、17人全員（昨年度26人）が奨学生として適正であるとの意見をいただき、答申どおり決定しました。

また、平成30年度「仙北市育英奨学資金償還金免除」について、申請された52件の免除決定の報告をしました。

同じく24日、2月より制度の見直し、健全・円滑な運用強化等について検討いただいた育英奨学資金制度検討委員会より、意見を集約した報告を提言書としていただきました。翌25日には、市長へ報告しております。

検討委員会での意見等につきましては、極めて建設的な内容が多く、本制度の重要性及び必要性を再認識したところであります。教育委員会といたしましても、より一層管理体制の強化及び貸与財源確保等に努めて、学生の向学の志を支援し、人材育成を図ってまい

ります。

今後も議会の皆様と協議させていただきながら、健全な運用に努めます。

◇大曲仙北中学校春季体育大会の主な結果について

4月27日から美郷中学校体育館で開催されたバスケットボールで、角館中学校女子が第3位、美郷町総合体育館で開催された卓球の女子団体戦において角館中学校が第3位に入賞しました。

5月3日、角館武道館で開催された柔道では、男子団体戦で角館中学校が第2位、神代中学校が第3位に入賞しました。

個人戦では、男子50kg級で角館中学校3年の福島快之介（ふくしま かいのすけ）さん、55kg級で角館中学校3年の黒澤要（くろさわ かなめ）さん、90kg級で角館中学校3年の蒲生純翔（がもう すみと）さんの3人が優勝しております。他にも、各階級でたくさんが入賞者が出ています。

◇仙北市学校適正配置について

5月8日、中川小学校と角館小学校の令和2年4月統合に向けた第1回「統合準備委員会」を開催しました。委員会の構成は、両校の地域、保護者、学校の代表者及び学識経験者の22人となっております。

1回目の統合準備委員会では、校名・校章・校旗・校歌等の在り方について協議され、校名は「角館小学校」とし、校章・校旗・校歌につきましては、角館小学校の現行のものを継承するということが決定されました。

なお、学年毎の行事等を中心とした学校間交流も、4月22日の「さくらの町の案内人（4年生）」から順次スタートしています。

また、もう一つの学校適正配置対象校である桧木内中学校は、少人数によるデメリットの軽減を図るために、西明寺中学校と学校行事などでの学校間交流を計画しています。

◇大曲仙北中学校陸上競技大会の主な結果について

5月22日・23日、西仙北中学校陸上競技場で大曲仙北中学校陸上競技大会が開催され、角館中学校が38年ぶりに女子総合優勝、男子総合準優勝の栄冠に輝きました。

個人種目でも、3年男子100mで角館中学校3年の畠山優舞（はたけやま ゆうま）さん、共通男子400mで角館中学校3年の佐藤心温（さとう しおん）さん、1年女子1500mで角館中学校1年の鈴木良来（すずき らら）さん、3年女子100m・共通女子200mで角館中学校3年の鈴木優来（すずき ゆら）さん、共通女子走り高跳びで角館中学校3年の畠山咲来（はたけやま さくら）さん、低学年女子400mリレーで角館中学校が優勝しました。その他にも、たくさんの生徒が入賞を果たしました。

【生涯学習課】

◇花いっぱい運動推進事業について

5月26日、仙北市西木町国道105号において、「にしきのフラワーロード105一斉植栽」が行われました。

当日は、地域市民をはじめ西明寺中学校全校生徒など約300人の協力を得て、西荒井から堂村間の往復9.2kmの道路花壇に黄色とオレンジ色のマリーゴールド約53,000本余りが植栽されました。また、同日は西木庁舎駐車場にて、市内の花弁業者の協力のもと「花の市」が開催され、お気に入りの花を求めるお客様で賑わいました。

5月31日には、「花いっぱい運動推進事業」の一環としてマリーゴールドの植栽を希望する集落や施設、さらには幼保施設や小中学校に対し約25,000本の花苗配布を実施しております。

今後も、仙北市の風物詩として、市内全域に事業の推進を図っていきます。

【田沢湖図書館】

◇子どもの読書活動優秀実践に係る文部科学大臣表彰について

5月17日、秋田県教育庁において、米田進教育長から田沢湖図書館が文部科学大臣表彰の伝達を受けました。

この表彰は、文部科学省が子どもの読書推進を目的に毎年行っているもので、秋田県からは田沢湖図書館のほか、小中学校や高校など4校、読み聞かせなどに長年取り組む八峰町おはなしの会の1団体が受賞しております。

活動内容は、子育て中の母親など保護者が乳幼児の泣き声などを気にせずに利用できる「とことこタイム」など、主に幼年・児童期における読書活動を促す取り組みを評価いただいたものと捉えております。

今後も、若い世代の読書環境の充実に努めるとともに、地域に根ざした運営とサービスを継続し、楽しく魅力ある図書館を目指していきます。

【学習資料館・イベント交流館】

◇「佐竹北家日記にみる天文現象展」について

昨年11月10日から3月29日まで新潮社記念文学館で開催しました「佐竹北家日記にみる天文現象展」は、936人のお客様からご観覧いただき、好評のうちに終了しました。3月と4月には、天体写真家藤井旭さん執筆の特集記事が雑誌「天文ガイド」に掲載されたことから、学習資料館には、佐竹北家日記をはじめ郷土資料についての問い合わせが多く寄せられ、両館を一体的にご利用いただけた展示会となりました。

◇「塩野米松聞き書き『中国の職人展』」について

4月6日から8月25日まで、「本」にならなかった本ー塩野米松聞き書き「中国の職人展」を開催しています。市内の中学校3年

生に通算14年間、聞き書きの指導を続けられている作家塩野米松さんが、6年の年月をかけ、中国の6人の職人に取材した「中国の職人」の展覧会です。多くの方々においでいただき、聞き書きの豊かさと楽しさを味わっていただきたいと思います。

【スポーツ振興課】

◇チャレンジデー2019について

5月29日、「スポーツで明るく元気な仙北市に」をスローガンに、住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー2019」が開催されました。

今回で9回目の参加となりましたが、花葉館グラウンド・ゴルフ場でのオープニングセレモニーを皮切りに、メイン競技のグラウンド・ゴルフのほか、早朝からご協力をいただいた角館町歩こう会、田沢湖歩こう会によるウォーキングや各地域の総合型スポーツクラブ、団体の協力のもと参加型メニューを実施し、多くの市民の皆様にご心地よい汗を流していただきました。

今年も市内各企業や事業所等、多くの団体からご協力を得ながら、対戦相手との勝敗にあまりこだわらず、住民の健康づくりと健康に対する意識を高めるきっかけづくり、併せて生活の中で運動の習慣化を図ることを目指しました。

今年の対戦相手は神奈川県^{おおいまち}大井町でした。お互いの参加率は、仙北市50.4%、大井町41.9%となりました。

仙北市ではチャレンジデーに参加を重ねることにより、健康づくりや生涯スポーツのきっかけづくりとして、少しずつではありますが浸透してきているものと捉えています。明るく元気なまちづくりを目指して、健康に対する意識の高揚や運動の習慣化を図っていきます。

◇東京オリンピック・パラリンピックホストタウン事業について

仙北市はタイ王国とカヌー競技のホストタウン登録を行っておりますが、玉川カヌーコースが大雨によるコース復旧作業が進んでいないことや、タイ王国にカヌー選手の強豪がいないことなどから、事業が進展しておりません。

そのような状況の中、昨年12月のタイ王国パラリンピック委員会会長の仙北市訪問時に、パラリンピック種目の合宿誘致をお願いしていたところですが、このたびタイ王国バスケットボール協会内の車いすバスケットボール協会との事前合宿等の可能性について情報提供があり、実現に向けて情報交換を行っております。

現在、詳細部分を協議中ではありますが、今後、条件が整えばMOU（基本合意書）を締結する方向で進めたいと考えております。

◇東京2020オリンピック聖火リレーについて

6月1日、東京2020オリンピック聖火リレーの県内実施14市町村の一つに仙北市が選ばれ、公表されました。

仙北市はホストタウン登録市町村であり、オリンピックメダリストの出身地でもあるため選定されたものと捉えています。

現在、詳細のルートは関係機関と調整中ではありますが、角館武家屋敷を中心に約2キロのコースを設定したいと考えています。

【文化財課】

◇桜の状況及び武家屋敷公開事業について

今年は全国的に開花が早くなっておりましたが、角館では4月に入ってから気温の低い日が続いたことから、武家屋敷通りのシダレザクラが4月21日、桧木内川堤のソメイヨシノが4月23日に開花し、5月2日の散り果てまで多くの皆様に見ていただきました。

また、武家屋敷の公開事業については、4月12日から重要伝統的建造物群保存地区の「岩橋家」「河原田家」「小田野家」と同地区外の「松本家」の公開を始めております。

なお、河原田家については、年次計画で修復工事を行うことになっており、今年度は主に外構工事を行います。工事期間中は安全対策のため公開を制限しますので、ご理解くださるようお願いいたします。

◇「これが秋田だ！食と芸能大祭典2019」参加について

5月25日から26日に秋田市で開催された、「これが秋田だ！食と芸能大祭典2019」に、ユネスコ無形文化遺産に登録されている角館祭りのやま行事の、横町若者と西部若者の曳山が出演しました。2日間ともパレードの途中で激突を披露するなど、たくさんの観光客に角館のお祭りを紹介するとともに、十分に楽しんでいただきました。

【平福記念美術館】

◇「名品と出会う-企業コレクションによる日本近代洋画展」について

今回多くの名品を所蔵されている公益社団法人糖業協会より多大なるご協力をいただき、4月17日から6月23日まで、安井曾太郎、東郷青児を始め日本の著名画家による洋画作品、彫刻を62点公開しています。

めったに見ることのできない名画の数々を、市民の方々を始め、観光客にも多く見ていただけるよう広く周知していきます。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げ、教育行政報告といたします。